

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)

【公開番号】特開 2002-318691 (P2002-318691A)
 【公開日】平成 14 年 10 月 31 日 (2002.10.31)
 【出願番号】特願 2002-26922 (P2002-26922)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 9/44
 G 0 6 F 15/177

【F I】

G 0 6 F 9/44 5 8 0 K
 G 0 6 F 15/177 6 7 4 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 9 月 14 日 (2004.9.14)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更

【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

問題を診断するための B B N モデルの計算リソース要件を推定する方法であって、
 前記 B B N モデルの複雑性の少なくとも 1 つの量的属性を決定するステップと、
 多項式の複雑性に従って、前記少なくとも 1 つの量的属性の関数として前記計算リソース要件を推定するステップと、
 を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記決定ステップは、
 前記 B B N モデルにおける原因の数 (N _ C) を決定するステップと、
 前記 B B N モデルにおけるステップの数 (N _ S) を決定するステップと、
 を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 N _ S を決定するステップは、N _ A を B B N において取り得る行動の数、N _ Q を B B N における質問の数としたとき、N _ S を (N _ A + N _ Q) として決定するステップからなる、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記推定ステップは、前記計算リソース要件を N _ C と N _ S の多項式関数として計算するステップを含む、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記計算ステップは、推定された記憶空間における前記計算リソース要件 (y) を $y = 2 \times (N_C \times N_S)^{0.8}$ として計算するステップを含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

問題を診断するための B B N モデルの計算リソース要件を推定するシステムであって、
 前記 B B N モデルの複雑性の少なくとも 1 つの量的属性を決定する手段と、
 多項式の複雑性に従って、前記少なくとも 1 つの量的属性の関数として前記計算リソース要件を推定する手段と、
 を含むことを特徴とするシステム。

【請求項 7】

前記決定手段は、

前記 B B N モデルにおける原因の数 (N_C) を決定する手段と、
前記 B B N モデルにおけるステップの数 (N_S) を決定する手段と、
を含む、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記 N_S を決定する手段は、 N_A を B B N において取り得る行動の数、 N_Q を B B N における質問の数としたとき、 N_S を ($N_A + N_Q$) として決定する手段からなる、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記推定手段は、前記計算リソース要件を N_C と N_S の多項式関数として計算する手段を含む、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記計算手段は、推定された記憶空間における前記計算リソース要件 (y) を $y = 2 \times (N_C \times N_S)^{0.8}$ として計算することを含む、請求項 9 に記載の方法。